



お知らせ

- #出石町の伝統的建築物とコウノトリの郷、豊岡見学 9月9日(土)
- #倶楽部 AMENITY 『建築の保存を考える in TOKYO』日光の別荘地見学 9月30日(土)
- #文化遺産信託研究会 セミナー 「文化財の修復」 10月1日(日) 自由学園明日館(東京池袋)
- #VoriesCottage 建設支援 「秋声 サロン・コンサート」 10月24日(火) ヴォーリズ六甲山荘
- #ほりだし市 11月3日(金・祝) 草志舎

ご報告**ヴォーリズ六甲山荘購入15周年記念スペシャルウィーク**

2008年3月にヴォーリズ六甲山荘を購入し、7月に公開をはじめて15年がたちました。それを記念して7月15日(土)から23日(日)の9日間をヴォーリズ六甲山荘購入15周年記念スペシャルウィークとして特別公開しました。15日(土)には園遊会、23日(日)には座談会をひらきました。期間中山荘には会員の魅力ある作品が飾られ、皆さんの多才ぶりに感動しました。

朝日新聞、神戸新聞六甲山大学、「宮っ子」(西宮市広報誌)というマスコミに大きくとりあげられました。とくに朝日新聞は写真入りの大きな記事で、おかげで期間中大勢の来場者がありました。9日間の来場者は198名、そのうち園遊会は42名、座談会は32名という盛況でした。はじめて六甲山荘に来たという人が多かったのも特徴です。これを機にアメニティ2000協会を知っていただけたのは大きな収穫でしたし、座談会を機会に3名の方が入会されたのもうれしいことでした。

園遊会はずす霧のなかという雰囲気のある会となりました。吉田久子さんの腹話術の司会で、ギターとヴァイオリンのデュオも軽快ですてきな演奏でした。石窯ピザもおいしく焼きましたよ。

座談会では山形氏の話も印象深く、また清水理事長と事務局長の話に司会の常陰朗雄氏が補足するかたちで、六甲山荘の購入から今にいたる流れをたどる話となりました。

なかなか有意義で実りある9日間でした。

**第20回 建物の保存を考える in Tokyo ~日光の別荘地見学**

明治中頃から昭和初期にかけて中禅寺湖畔には、各国の大使館をはじめ多くの外国人別荘が建てられ、国際避暑地として発展しました。今回はシンボリックなイタリア大使館別荘(1928年築・登録文化財)と英国大使館別荘を訪ね、豊かな自然環境の中で自然に調和した別荘建築を見学します。帰路には、日光真光教会(1914年築・県指定建造物)とJR日光駅(1912年築・登録文化財)を見学します。

日時: 2023年9月30日(土)

集合

時間: 午後1時 解散時間: 午後5時

集合場所: 東武日光駅前

会費: 会員 4,500円 一般 5,000円 定員: 20名

旧イタリア大使館別荘→

***オプション: 古河掛水倶楽部訪問**

古河掛水倶楽部(1899年築・登録文化財)は、足尾銅山の隆盛期に貴賓客の接待や宿泊施設として利用されていた迎賓館です。上記に参加される方のみお受けします。

集合時間: 午前9時10分 解散時間: 午前11時40分

集合場所: 東武日光駅前 会費: 会員・一般 1,500円

定員: 20名

詳細は同封の案内チラシあるいはホームページをご覧ください。

ヴォーリズ六甲山荘で食事と音楽とお茶を楽しむ企画のご案内です。秋の半日、優雅な別荘ライフをゆったりと満喫してみませんか。

日時：10月24日（火）12時～15時

コンサート：「愛の調べ～歌とピアノとオカリナと～」

宮脇千恵（歌とオカリナ） 西村由紀子（ピアノ）

参加費：会員3000円 一般4000円（食事、お茶つき） 定員：20名



詳細は同封の案内チラシあるいはホームページをご覧ください。

予告

ほりだし市

秋の恒例行事であるほりだし市をひらきます。

今年も会員の皆さまからの作品出品をお待ちしています。また新しくクラフトセンターの企画によるコーナーも新設されます。どんなものが並ぶのか、楽しみにお待ちしております。

日時：11月3日（金・祝） 11時～15時

場所：草志舎



ほりだし市への出品のお願いとスタッフ募集

出品：皆さんの手作り品、総菜、ケーキ、パンなど出品してみませんか。

スタッフ募集：11月2日（木） 準備と設営 10時～16時（一部の時間でも結構です）

3日（金・祝） 販売と喫茶のスタッフ 10時～15時半

ご報告 文化遺産信託研究会フィールドワーク **延暦寺根本中堂** 7月8日（土）

現在屋根の修復中の根本中堂（国宝）と廻廊（重要文化財）を訪れました。この修復にもかかわっておられる坂井清氏の解説つきで、大屋根を見下ろす見学コースを歩きました。屋根の壮大さ、屋根材の銅板と葺き板が整然とならぶ美しさが印象的でした。



ご報告 倶楽部 AMENITY 「ヴォーリズ六甲山荘の檜が屋根（檜皮葺）になるまで」体験教室 8月19日（土）

充実した会でした。参加者23名のうち一般14名 学生（小学生ふくむ）が5名という構成で、建築関係の方も多く、またアメリカ人も来られました。日本建築の伝統技術の一端を目の当たりにすることができて、大変好評でした。一度皮をむいた檜は10年後にまた皮を取ることができます。ただ今回は山荘に生えている檜の半分しか皮を採取しなかったため、5年後に残りの檜で同じ作業ができるとのこと。今から楽しみです。

なお今回の作業（17日～22日）で採取された檜皮は90キロ、これで葺ける屋根の広さは半坪（畳1畳）とのことでした。



ご報告 文化遺産信託研究会主催 **第2回シンポジウム** 8月29日（火）～30日（木） ヴォーリズ六甲山荘

文化遺産信託研究会の主催となって2回目のシンポジウムで、1日目の講師は中嶋節子京都大学教授、田淵結神戸女学院監事、2日目は河田昌之和泉市久保惣記念美術館館長、石博督和関西学院大学建築学部准教授と錚々たる顔ぶれで、それぞれの取り組んでおられる課題について臨場感あふれるお話で、聴きごたえがありました。また3日目は研究会の分科会の報告と会員の西宏美さんから「竹釘について」のお話がありました。おりしも六甲山荘で檜皮の体験教室をひらいたばかりで、タイムリーなお話でした。

29日と30日の参加者によるワークでは、山荘の雨戸にベンガラをぬりました。前日に水洗いをし、初日に赤いベンガラをぬり、2日目に布で擦り込む作業を行い、すべての雨戸がきれいな赤色に化粧直されました。

期間中の昼食とおやつはAMENITY CSCが提供しました。

<文化遺産信託研究会>

秋のセミナー・文化財の修復 at 自由学園明日館

開催日時：2023年10月1日（日）14：00～16：00（受付開始13：30）

開催場所：自由学園明日館・大教室「タリアセン」（東京都豊島区西池袋2丁目31-3）

テーマ：文化財の修復

講演①「いにしへの美を蘇らせる」

佐野 智恵子（工房いにしへ代表・文化財陶磁器の修復家）

講演②「洋装本の修理と保存について」

岡本 幸治（製本家・書籍修復家）

定員：34名

参加費：賛助会員3,000円

お申し込み・お問合せは文化遺産信託研究会のアドレス bunkaisanshintaku@gmail.com

詳細は同封の案内チラシをごらんください。



募金のご報告 6月～7月

6月、7月に次の方々から募金をいただきました。ありがとうございました。（敬称略）

*文化遺産継承基金

《6月7月合計 132,900円 2023年度累計 223,400円》

*Vor ies Cottage 建設基金

《6月7月合計 60,000円 2023年度累計 179,700円》

六甲山荘デザインのTシャツができました！

アメニティ便り 7月号でもお知らせしましたが、角倉起美さんデザインの六甲山荘 T シャツができあがり、山荘の販売コーナーに並んでいます。色のヴァリエーションが多く、見るのも楽しい、選ぶのに迷うのも楽しい T シャツです。生地もしっかりしていて、安心して着られます。

山荘まで来られない方にはネット販売もしておりますので、お試しく下さい。



檜皮体験教室



檜の皮をむく。むいたあとは赤くなる。



皮を成形する。



竹釘で打ち込む。



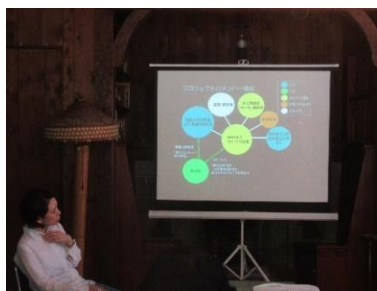
小学生が挑戦。

シンポジウム



雨戸のベンガラ塗り

河田昌之氏



中嶋節子氏



田淵結氏



石樽督和氏